

雪崩トレ：谷川岳

日程：2010年1月16～17日
メンバー：斎藤（L）、野澤（SL）、菊地、白土、奥平、山口、神戸、安藤、山本、池田（記）

谷川岳の天神平ロープウェイで上がったところの上で雪崩トレーニング。前夜に神奈川を出てロープウェイの6F ロビーに宿泊。暖かくてトイレも自動販売機もあるスペースを登山者に開放してくれるなんてありがたいこと。ぐっすり眠ることができた。6Fにはかなりの人数がいたはずなのに登っているのは自分たちのみ。他のグループは下のほうで訓練したのだろうか。ロープウェイを降りたあとはトレーニング場所までラッセル。最近あまり山にいけてなかった体には腰上まで埋まる柔らかい雪のラッセルはきつい。9人いて良かったと思った。先頭2人がザックをおろし、こまめに交代しながら進んでいった。600m程進むのに3時間以上かかった。



テントを張った後、トレーニングに入る。弱層テスト(ハンドテスト、シャベルコンプレッションテスト)、断面観察、プローブで埋まった人、ブーツをついた時の感触の確認、ビーコン捜索を行った。2日目は再度ビーコン捜索を行った後、埋没体験、搬出

の訓練を行った。搬出以外は昨年の県連の雪崩講習会でいったことだったが、忘れかけていたこともあり今回復習できたことは大変有意義だった。ただ今シーズンは谷川周辺の雪が多いようで今回も2,3日前から降った雪が表面から70センチ程積もっていたため、断面や弱層の観察には適当ではなかったようだ。また腰まで雪に埋まってしまうのでビーコン捜索もやりづらかった。埋没体験が嫌で嫌でたまらなかったが手加減して？すぐ掘り出してもらえたのでほっとした。あの急にがちと固められて動けなくなるのが嫌だ。

ところで今回はじめてさがみ山友会の鍋を食べた。各自具材を用意するというところで闇鍋のようなものか？とときどきしていたら普通の鍋、いや普通以上にバリエーションに富んだおいしい鍋が出来上がった。3回戦で満腹。

訓練を終えて下山。3時間以上かけて登ったところも下りは30分程。山から下りた後は水上駅近くのあしま園で普通盛りなのに2倍くらいはあるルーが雪崩そうなカツカレー。甘めのカレーでおいしかった。



地図

1/25,000 水上、茂倉岳